

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：心の発達ゼミ ILAS Seminar :Seminar on Mental Development			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 船曳 康子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月4	教室	総合館共南216			使用言語	日本語
キーワード	コミュニケーション / 発達障害 / 心の支援 / 人格形成 / 性格						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
<p>人のこころの成り立ちやその働きのメカニズムは、解明の難しい、答えがどこにあるのか不明な問題のため、高校までの勉強とは異なった角度からの学問となるでしょう。その分、奥が深く、心理学、医学、社会学、生物学、さらには制度や法律、経済にも関係しうる、様々な専門分野が融合するテーマでもあります。</p> <p>本授業では、多角的な専門的観点から、現時点でわかっている「こころ」について学ぶとともに、日常生活におけるこころの動きに照らし合わせながら、その働きについて洞察を深め、日々に活かせるような土台を作ることを目指します。</p> <p>発達の観点からは、人のこころは、生まれながらの性格、環境、様々な要因の影響を受けながら、人格として形成され、生涯発達していくと考えられています。この過程を、乳幼児期、児童期、思春期、成人期、老年期などライフステージごとに考察し、個人の特徴も合わせて、精神面の発達過程、さらには精神的不調やその回復過程についても学びます。</p>							
[到達目標]							
<ul style="list-style-type: none"> ・人のこころの発達について、分野横断的な基本的な事項を理解する。 ・これまでの知見や時事問題、ゼミのメンバーとの建設的な意見交換を通して、多様な背景を元にした様々な考え方やこころの状態があることを認識する。 ・自身のストレス対処、メンタルヘルスの維持、周囲への配慮のための土台を築く。 							
[授業計画と内容]							
<p>第1回 イン트로ダクション 第2回～第14回 教員から、以下のような内容の話題を各回一つずつ提供し、グループディスカッションを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. こころの分野の多面性 2. ライフステージごとのこころの特徴 3. パーソナリティ(人格)について 4. 発達障害について 5. こころの働き(通常の認知機能とその破綻) 6. メンタルヘルスの維持方法 <p>残りの7回は、学生から関連する内容の話題提供を募り、提案されたテーマに対して、メンバーは建設的な意見交換を行い、教員はファシリテートをしながら、関連する知識や情報の提供や紹介、また助言を行います。</p> <p>特に、時事問題、報道などから積極的に取り上げ、現在起こっている未解決の事柄について、メンバーで話し合い、解決方法を探っていきます。</p>							
ILASセミナー：心の発達ゼミ(2)へ続く							

ILASセミナー：心の発達ゼミ(2)

学生からの話題提供や時事問題の解説の際に、上記テーマの解説を盛り込むこともあります。

第15回まとめ

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

出席と参加の状況、議論への参加状況の総合評価。詳しくは授業中に説明します。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

日頃から、時事問題に目を通しておいってください。

[その他(オフィスアワー等)]

[実務経験のある教員による授業]

分類
実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

当該授業科目に関連した実務経験の内容
医師(精神科医・内科医)としての診療従事(特に児童精神、発達障害)、行政・地域福祉・学校現場と連携した社会的支援の実務(公認心理師取得)

実務経験を活かした実践的な授業の内容
教科書やメディア情報からは得られない、精神科医としての実臨床や地域連携における実体験に基づいた解説を追加します。